



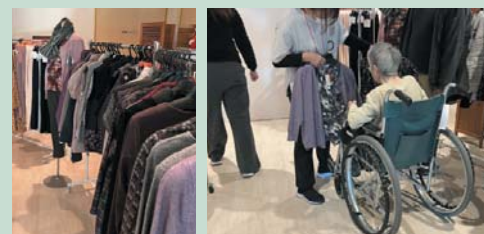
### 介護施設に 訪問販売が来ました！

名張市木屋町にある、地域密着型特別養護老人ホーム「ゆう」に、1月30日、衣料品の訪問販売が来ました！

今回が初めての試みだそうで、「自分の好みの服を手にとって選ぶことで、日常に刺激と喜びを感じてほしい」という、「ゆう」の管理者が以前から抱いていた思いが実現しました。

外出が困難な入居者にとって、「自分で服を選ぶ楽しみ」や「季節を感じる買い物」は喜びの機会。販売員と会話を交わすことで、日常生活に潤いが生まれ、認知症予防やリハビリ効果も期待されるそうです。

今後、2回3回と続けていけたらとのこと。地域の人との交流も深めていきたいそうで、どなたでも参加できます（年配の人向けの品物が多いです）。普段の洋服店とは雰囲気も違うので、近くにお越しの際に開催していたら、ぜひ一度お立ち寄りください。



市民PRチームがInstagramで綴ったなばりの魅力をご紹介します！  
nabari\_pr ◀ 投稿を再編集して掲載！フォローしてね



### お出かけしませんか？

### ボランティアガイドおきつもご紹介 美旗古墳群を歩こう！

4世紀末～6世紀初頭の首長の墓が点在する美旗古墳群。平坦な地形で眺望が開けていて、ハイキングにぴったりの地域です。昔の美旗を思い浮かべながら歩いてみてくださいね。



ボランティアガイドおきつも  
川口 和夫さん



古墳を深掘りする川口さんと一緒に歩いた広報担当者。ウェブ版レポートを読めば、あなたも「古墳沼」にはまる？！



### あなたもボランティアガイドになりませんか？



名張の歴史・文化・自然に興味のある人や、生きがいづくりや地域貢献で人生を豊かに過ごしたい人におすすめ！詳しくは問合先へ

市観光協会 ☎ 63-9087

## じもと再発見 なばりじまん



# 4年連続「特A」獲得 伊賀コシヒカリ

おいしいお米と言えば「なばり」。2月27日に日本穀物検定協会による令和7年度産米の食味ランキングが発表され、伊賀地域で作られたコシヒカリが4年連続11回目の最高評価「特A」に輝きました。

昼夜の温度差が大きい盆地特有の気候や、水持ちの良い土壌、山々からの清らかな水など、おいしいお米が育つ条件が揃っている伊賀地域。味、香り、粘りの三拍子が揃ったおいしい伊賀米を食卓に届けるために、日々工夫を凝らしている人たちにお話を伺いました。

### 心をこめて50年。 昨年よりも良い伊賀米を



生産者 前田 正澄さん

「基本をしっかりやるのが結局大切なのかな」。米作り歴50年以上の前田さんはそう語ります。前田さんは、東田原を中心とした20ヘクタールほどの田んぼで、コシヒカリをはじめとした伊賀米を生産しています。

前田さんがこだわっているのは土づくりと肥培管理です。土に十分な栄養を与えるために、JAが行う土壌分析で、必要な栄養を見極めるんだそう。「田んぼによって必要な栄養は違うので、それぞれに適した肥料を与えるよう気を配っています。肥料が多すぎると稲が倒れる原因になり、収穫できなくなる可能性が出てきてしまうので、加減が難しいですね」と自然を相手にした米作りの難しさを語ります。

「おいしい、と言ってもらえるのが一番嬉しい。毎年『昨年よりも良い米を』と思いつつ、一年中田んぼの世話をしているので、ぜひおいしく食べてもらえれば」と笑顔を見せてくれました。

伊賀米のおいしさの  
ヒミツを公開中！  
市公式 note



「伊賀米ファンを市内外に増やしたい」という意気込みを話すのは、長年生産者のサポートをしてきたJAいがふるさと岡田さん。3月からANAファーストクラスの機内食で伊賀米を提供するなど、新たな取組でPRを続けています。生産者の生活の安定のためにも、伊賀米を広く知ってもらい「売れる米」にしていくことが大切だと語ります。

一方、近年の猛暑や水不足を受け、生産者への情報提供方法を一新。これまで月1回発行の広報紙で生育情報を発信していましたが、2年前からLINEを活用し始めました。「天候や害虫の発生状況などをタイムリーにお届けすることで、生産者の判断材料を増やすことができます。いつ何をすればいいかの指針になるので、生産者からも好評をいただいています」



JA 伊がふるさと 営農部長  
岡田 知也さん

おいしい伊賀米を「売れる米」へ